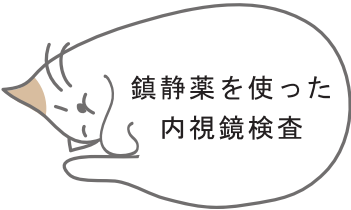


本当に楽な内視鏡検査を目指して


入江病院の消化器センターでは、皆様にできるだけ辛くない内視鏡検査を受けて頂けるよう様々な方法を取り入れています。過去に内視鏡検査を受けられ、カメラは苦手と感じておられる方。検査の経験はないけれど、怖いな、嫌だなという印象をお持ちの方。ご心配ありません！内視鏡検査をもっとストレスの少ない楽な検査に変えてしまう方法があります。皆様の不安や苦痛を解消すべく、当院で実施している様々な工夫をご紹介します。

内視鏡検査（胃カメラ、大腸カメラ）を受けられる際に、ご希望の方には鎮静薬を使って眠った状態で検査を受けて頂いています。大半の方は気がつけば知らない間に検査が終わっているという具合で、一度鎮静薬を使って内視鏡検査を受けられたご経験のある方のほとんどは次回もこの方法を希望されます。検査終了後は院内で少し休んで頂いてから帰宅となります。検査を受けられた日は自家用車の運転は出来ませんので、公共交通機関かご家族の送迎でお帰りください。




鎮静薬を使った
内視鏡検査

経鼻内視鏡検査では、鼻腔（鼻の奥）の麻酔を行った後、約5mmの細い内視鏡を鼻孔（鼻の穴）から挿入します。通常、内視鏡検査を受ける上で一番つらいのはカメラがのどを通るときに発生する違和感や吐き気です。舌のつけ根（舌根）を圧迫されたときに吐き気が生じるのですが、経鼻内視鏡は鼻の奥から喉に向かってまっすぐに、周囲の粘膜を圧迫する事なくスコープが通過するので、舌根への影響も少なく、吐き気をほとんど感じません。また、検査を受けながら会話することも出来ますので、医師や看護師とコミュニケーションをとりながらリラックスして検査を受けて頂けます。鎮静薬を使いたくない方や、当日車を運転される方などにお勧めです。



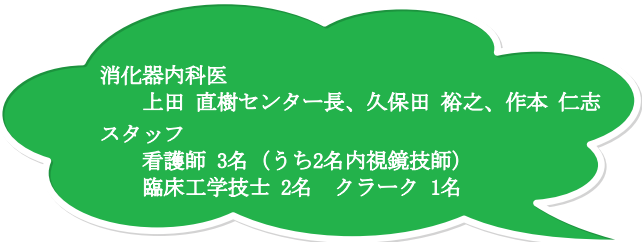
経鼻内視鏡検査



二酸化炭素
送気を使った
内視鏡検査

大腸の壁には多数の^{ひだ}襞があるため、カメラから空気を送り込んで（送気）、大腸の壁を十分に伸ばして病変の見落としがないように観察を行います。当院では大腸内視鏡検査にCO₂送気を導入しています。CO₂は空気と比べ速やかに体に吸収されるため、検査後にお腹の張りに苦しむという心配がありません。

内視鏡検査に不安を感じておられる方、過去につらい経験をされてもう受けたくないと思っておられる方、どうせ受けるなら楽な方がいいと思われる方。是非、お気軽にご相談下さい。



消化器内科医
上田 直樹センター長、久保田 裕之、作本 仁志
スタッフ
看護師 3名（うち2名内視鏡技師）
臨床工学技士 2名 クラーク 1名



消化器センターへのお問合せは
079-239-3121（代）まで。

